



魚礁に蟠集するウスマバルの成魚

## “豊かな水産資源を育む豊饒の海づくり”

今別地区(今別東部漁場)水産環境整備事業 / 今別町

本県周辺海域では、近年、ウスマバルの漁獲量が大幅に減少したため、県では、平成19年に青森県ウスマバル資源回復計画を策定し、昭和50年代前半の水準まで回復させることを目標にしました。

当事業地区は、日本海、太平洋、陸奥湾の分岐点にあたり、ウスマバルの回遊経路の中で特に重要な海域であることから、幼稚魚の保護・育成場となる増殖場と成魚を対象とした魚礁漁場を整備することで生息環境空間を整え、その資源回復を図ることを目的としています。

今別地区(今別東部漁場)



### 事業概要

事業期間	平成23年度～平成29年度		
事業費	1,500,000千円		
事業内容	増殖礁 (水深80～100m程度)	15m級礁体 20m級礁体	54基 9基
	魚礁 (水深100～120m程度)	20m級礁体	18基

### 工事の概要

組立状況



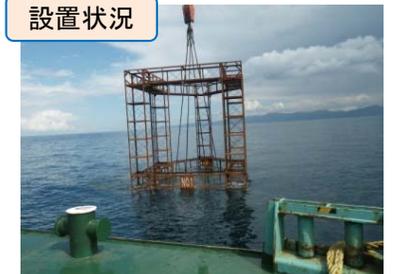
組立完了



海上運搬



設置状況



### 主な取組内容

#### 地域力の再生

事業実施にあたり、今別地区環境公共推進協議会を設立。(平成23年9月12日)

関係する漁業協同組合の代表者の他、今別町役場、環境公共コンシェルジュも加わり、整備後の漁場の適正かつ効率的な運営を図ることとしています。



#### 農林水の連携

工事現場では間伐材を利用した工事看板を設置しています。

#### 環境の保全・再生

ウスマバルなどの餌となる小さな生物が定着しやすくするように飼料培養基質を備えた高層型の増殖礁を配置することで、水産生物が良好に生息できる機能性の高い水産環境を創出します。